

普及活動情勢報告（令和元年 10 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

大型苗で収量増へ！ ～加工用ワサビ生産者総会～



生産者総会の様子

9月24日、J A 高知県高西地区津野山営農経済センターで加工用ワサビ生産者総会が開催され、生産者5人が参加しました。

農業改良普及課からは、加工用ワサビの栽培技術に関する情報提供を行い、栽培前半と後半の管理のポイントや病害虫対策について説明しました。生産者は熱心に説明を聞き、要点を理解してくれた様子でした。また、今作は、農業改良普及課とJ Aが普及を進める72穴ポット苗（大型苗）を生産者全員が選択しました。大型苗は定植後の活着が良く、収量増が期待できます。

農業改良普及課は、収量4トン/10aを目標に生産者の栽培を支援していきます。

県版G A P 点検で作業改善へ ～ナス部会臨時会議～



G A P 点検方法について説明

10月8日、J A 高知県高西地区津野山営農経済センターでナス部会臨時会議が開催され、生産者14人が参加しました。

農業改良普及課からは、6月の総会で配布した高知県版G A P ポスターの1ヶ月毎の点検方法について再度説明しました。生産者は熱心に説明を聞き、日々の作業を確認しながら点検シートにチェックしていました。

J Aからは、9月に改訂があった出荷規格表やJ A高知県における集出荷場再編構想などについて説明しました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関とともにG A P 点検活動に取り組み、安心・安全な農産物生産を支援していきます。

実りの秋 稲刈り体験を実施 ～高知県立大学 COME☆RISH×おおのみエコロジーファーマーズ～



初めての手刈り体験
上手に刈れました！

10月6日、おおのみエコロジーファーマーズは高知県立大学の学生グループであるCOME☆RISHを対象に米の稲刈り体験を実施しました。秋晴れの中、6月に学生らが田植えした田んぼで手刈りとコンバインによる収穫作業を体験しました。COME☆RISHのメンバーは、イネの生長を実感しながら丁寧に刈り取りをしている様子でした。

農業改良普及課からは、イネ・お米に関する情報提供を行い、出穂期以降の栽培管理やおおのみエコロジーファーマーズの栽培の特徴、お米の表示についての理解を深めてもらいました。学生からは「害虫の被害があったお米の調整方法について教えてください」や「今年、特に被害が多かった病害虫は何ですか」など多くの質問が出ました。

農業改良普及課は、今後もおおのみエコロジーファーマーズ及びCOME☆RISHのより良い活動になるよう支援を行っていきます。

口目ヶ市集落を守るために ～少人数座談会の実施～



座談会の様子

津野町口目ヶ市集落から、将来に対する集落の危機感を伺い、昨年度から農業改良普及課など関係機関も参画し、地域で話し合う機会を設けてきました。

今回、9月26日に中山間直弘の集落協定メンバーを中心に、少人数での座談会を開催しました。

農業改良普及課からは、集落がまとまって活動する事例紹介・DVD上映を行い、参加者からは「普段思っていたことが言えて良かった」、「みんなで話し合う機会が持てたらいい」など今思う率直な意見が出されました。

11月に口目ヶ市集落全体に参加してもらう座談会を計画したので、農業改良普及課は、今回の座談会メンバーや関係機関と協力しながら、支援していきます。

花きの品質向上を目指して！ ～花き日持ち品質管理認証の取得～



審査の様子

10月16日、管内の花き農家で、認証機関による「花き日持ち品質管理認証」の審査が行われました。今年度、農業改良普及課は、この農家では一部輸出もしていることから、使用器具の衛生状態のチェックや改善指導等、認証の取得へ向けて農家と共に準備を進めてきました。

農家からは、具体的な質問も出され、審査員から水揚げ用のバケツの洗い方やハサミの消毒の仕方等について助言をもらいました。農家からは、今後改善していきたいとの声が聞かれ、日頃の品質管理にも自信が持てたようでした。

農業改良普及課は花きの日持ち品質のさらなる向上へ向けて農家の取り組みを支援していきます。